

白馬村総合戦略(案)に係るパブリックコメント等に対する対応について

資料No.1

番号	ページ 該当箇所	ご意見等の内容	ご意見等への対応
1	2P イ 年齢3区分別人口の推移と将来推計	「年齢3区分別人口の推移」のグラフに、実績値と推計値が分かるように線を入れた方が良い。	1Pの「人口推移と将来人口推計」のグラフと同様、点線を入れ推計と分かるようにさせていただきます。
2	4P オ 出生数の推移	文中、「・・・出生数が、2012年には、47人となっています。」の部分は、2007年から2013年までの推移なので、全体について記述した方が良い。	「・・・出生数が、2013年には、63人とゆるやかに減少しています。」という表現に変更させていただきます。
3	8・9P ケ 年齢階級・男女別の人口構成	2020年～2040年の人口ピラミッドは推計値であるから、グラフの出典として「社人研推計」とするべきです。	出典を国勢調査ではなく、社人研推計に訂正させていただきます。 ※社人研とは国立社会保障・人口問題研究所の略称です。
4	12P ア 将来人口推計	文中、「人口対策次第で現状に近い人口規模を維持することが期待できる余地がありません。」の部分では、何と比べて現状に近いのか記載するべき。	「人口対策次第でパターン1よりも現状に近い人口規模に減少の歯止めをかけることが期待できる余地があります。」という表現に変更させていただきます。
5	12P 各類型の設定条件	シミュレーション1、シミュレーション2の人口置換水準「2. 1」の根拠を記載するべき。	「人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。若年期の死亡率が低下すると人口が減りにくくなるので、この水準値は減少する。現在の日本の人口置換水準は2.07(平成24年、社人研)」と注釈を追加させていただきます。
6	31P 2 基本方針	総合戦略の基本方針なので、文頭は「地方創生は、」でなく「地域戦略とは、」で始まり、「解決に当たって重要なのが」の後ろに「地方創生を活用し」を追加する。	「地域戦略とは、「ひと」が・・・」と課題の解決に当たって重要なのが地方創生を活用し、人口減少へと・・・」に変更追加させていただきます。
7	32P 基本目標1	「4. 施策の展開」の連動性がない。 (正規雇用ができる企業のことが「施策の展開」にないが、いいのか?)	村全体で、とらえており、企業のみならず個人事業主も含めていますのでご理解をお願いします。
8	32P 基本目標4	上記と同じ理由であるが、「将来にわたって住み続けたい魅力ある『まち』をつくる」のなかにある基本施策1～5を実行して新築住宅戸数が150になるとは思えない。	40～42Pの基本施策1～5に取り組むことで魅力を創出し人口定着を図ってまいります。
9	33P 基本施策1	KPIに作付け面積の集約を掲載してはどうか。作付け面積が広がり、担い手の雇用が増える事が見込まれるのではないか	総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
10	33P 基本施策2	目標値(H31)の設定(5件、3人、累計10人)についてですが、ここは、ある意味、産業振興のほか、地域づくりや、移住・定住につながる重要な部分であり、これから力を入れて取り組んでいくことが大いに期待される場所ですので、目標値の設定を、もう少し積極的に設定されてはいかででしょうか。	総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
11	33P 基本施策3	基本施策3のKPI、小水力発電量の目標値100万kwは年間発電量の誤りではないか?	ご指摘のとおり、現在の表記では瞬間発電量となりますので、年間100万kwhと年間の発電量と分かるように変更させていただきます。
12	33P 基本施策3	ジオ・サーモ(温泉)を活用した野菜栽培や消雪・融雪(追加)	地域資源を活かした自然エネルギーの実用化の後に(温泉を活用した野菜栽培や消雪・融雪など)とさせていただきます。

番号	ページ 該当箇所	ご意見等の内容	ご意見等への対応
13	33P 基本施策3	①『小水力発電の建設と売電(農業生産の充実と地域循環経済の活性化)』について、なぜ、農業生産の充実につながるのか、また、地域循環経済の活性化は、なぜ、もたらされるのか、(想定する経済の循環のかたちが明記されていないため)分かりにくいと思います。 ②『山小屋への安定した電力供給によるグレードアップ化した山岳観光の充実』については、グレードアップとは、何のグレードアップであるのか、分かりづらいので、グレードアップする具体的な取り組みの部分を、少し示してはいかがでしょうか。そうでないと、なぜ、そこにつながるのか、個々の読み手の想像に任せることになってしまうと思います。	①小水力発電を活用した農産物の温室栽培により、観光産業への食材の安定供給が可能となり、地域循環経済の活性化につながるということを意味しておりますが、ご意見を踏まえ「小水力発電事業の推進と調査研究(農業生産へのエネルギー活用した地域循環経済の活性化)」と変更させていただきます。 ②「山小屋への安定した電力供給を確保した快適な滞在空間の提供による山岳観光の充実」に変更させていただきます。
14	34P 基本施策4	観光客入込は平地と山岳を分けるべきではないか。白馬の観光は山岳に特化していると思う。	観光客入込数については、当初、山岳観光の入込客をKPIとして設定しておりましたが、審議会の中で通年型観光ということでウィンターシーズンを除いた期間をKPIに設定した経過がございますのでご理解をお願いします。
15	34P 基本施策4	『冬に比べ観光客の少ない』という文章については、もうすでに、トータル的にはグリーンシーズン合計は、冬の人数に追いついています。(あるは逆転)ただ、月平均の入込人数が少ないため、冬に集中してしまっているということ。実態を反映して、文章に「月別の観光客数が少ない」というニュアンスの言葉を入れてはいかがでしょうか。	意図していることは、ご指摘のとおりです。冬に比べ観光客の少ないという部分を削除し、「グリーンシーズンにおいて、様々な観光振興策を展開し、観光客の入込数を増やし通年型観光を推進します。」とさせていただきます。
16	34P 基本施策4	具体的な取り組みに里山整備を入れた方がいいのではないかと 青鬼(伝統的建造物群)は記載しないのか	「里山の整備等による地域資源を活用した観光の推進」を追加させていただきます。 青鬼(伝統的建造物群)については、観光地経営計画に観光利用にあたっては、住民の意向やルールを設定し守られることが重要となると記載されていることから、今後検討事項とさせていただきます。
17	34P 基本施策5	道の駅への出品者数(追加)	総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
18	36P 基本施策1	①『地域おこし協力隊員数 10人』については、人数を増やすことはよいことですが、地域として、何を担ってもらおうとするのか、期待されている任務の内容を、下段の「具体的な施策・主な取り組み」に明記してもらいたいのではないかと 思います。 ②『サテライトオフィスの設置数 1企業』については、目標年度には、さらにウェブ環境が整ってくるのが当然予想され、これからの新しい企業形態でもありますので、もう少し積極的な数値目標であってほしいのではないかと 思います。	①文頭に「地域おこし協力隊制度等を活用し、」を追加させていただきます。 ②総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
19	36P 基本施策2	(冬期人手不足解消を兼ね)インターンシップ導入企業数(追加)	総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
20	37P 基本施策4	「具体的な施策・主な取り組み」では、「山村留学」をあげていますが、いわゆる山村留学は、体制も含め、実現性にやや疑問があると思われます。意図するところは、文章後半に出てくる「生活体験」であると思われます。なので、「山村留学」ではなく、「都市部の児童・生徒が、豊かな自然環境に恵まれた白馬村での生活体験ができる体制を整え」というようなものにされてはいかがでしょうか。	「都市部の児童・生徒が豊かな自然環境に恵まれた白馬村での生活体験ができる体制を整え、都会から多くの児童・生徒を呼び込み、生活体験を通して地域の魅力や歴史、文化などに触れることで、将来の移住・定住につなげます。」とさせていただきます。
21	39P 基本施策4	「教育の質の向上を図ることにより活力と魅力ある学校をめざし、高度情報化・グローバルシヤカに対応した・・・」とありますが、ICTを導入することで、学ぶ意欲が高まり、「学力の向上」にもつながることを期待します。 「学力の向上」への取り組みという意味の文言を入れてはいかがでしょうか。	「ICT教育の環境を整え、タブレットや電子黒板等の周辺機器を活用した授業により、効果的で分かりやすい授業を展開し、教育の質の向上を図ることにより生徒の学力向上と活力にあふれた魅力ある学校を目指し、高度情報化・グローバル社会に対応した教育を推進します。」とさせていただきます。
22	39P 基本施策4	交換留学生(姉妹都市含む)の派遣と受け入れ 村内留学(外国人家族宅への1泊2日程度の短期)の受け入れ登録者	総合戦略の基本目標に係る目標値や具体的な施策に係るKPIについては、達成度により検証を行い今後改善を行っていきます。
23	40P 基本施策	若者の既存集落への定住促進と補助	41Pの基本施策3で祭り支援の次に若者の既存集落への定住促進を追加させていただきます。

番号	ページ 該当箇所	ご意見等の内容	ご意見等への対応
24	42P 基本施策4	<p>KPIの「大北地域の新規広域事業件数」は、具体的に何が分かりづらいです。 そのため、どうして8件という目標値が上がるのかも、分かりづらいと思います。ここは、他の地域の戦略との整合性をとって、8件となっているということでしょうか。 「具体的な施策・主な取り組み」のなかでは、『ミニ定住自立圏』をあげていますが、これは今、広域連合の戦略として検討されているものだと思いますが、『ミニ定住自立圏構想』だけでは分かりづらいと思います。また、産業(観光)面での取り組みも、世界水準の山岳観光都市、HAKUBAVALLEY、バスの運行など、実際に検討、進められてきていますので、それらも含めて、より具体的な取り組みとしてあげられてはいかがでしょうか。</p>	<p>この部分は、大北管内の市町村で共通して同様に記載していく部分になります。新たに記載内容が示されましたので、次のとおり変更させていただきます。また、HAKUBAVALLEYの取り組みにつきましては、34P基本施策6に含まれていると考えておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>「地方創生を実現するためには、村の取り組みに加え、大北地域全体で地域力を向上させ、活力ある経済・生活圏を構築するという広域的観点に立って課題を解決する必要がある。現在、大北圏域は国が推進する定住自立圏や連携中枢都市圏などの要件に該当しない制度空白地域であることから、従来からの北アルプス広域連合の枠組みに加え、大北圏域独自の新たな広域連携のスキームを構築し、個々の資源を活かしながら連携した取り組みを推進します。</p> <p>【主な事業分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者交流、結婚・子育て支援 ・移住交流、広域観光 ・成年後見支援センター等 ・地域医療 ・人材育成、合同調査研究
25	42P 基本施策4	基本施策に芸術的なもの(アート)を取り入れてはどうか	基本施策6で「・・・広域的な情報(文化・芸術等)を受発信する・・・」とさせていただきます。